

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分
 【発行日】平成22年1月7日(2010.1.7)

【公開番号】特開2009-270431(P2009-270431A)
 【公開日】平成21年11月19日(2009.11.19)
 【年通号数】公開・登録公報2009-046
 【出願番号】特願2009-189717(P2009-189717)
 【国際特許分類】

E 0 5 B 65/20 (2006.01)

B 6 0 J 5/00 (2006.01)

【F I】

E 0 5 B 65/20

B 6 0 J 5/00 M

【手続補正書】
 【提出日】平成21年10月15日(2009.10.15)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ドアの外側開扉ハンドル 28 の開扉操作で待機位置から開扉作動位置に向けて変位するオープンレバー 27 と、前記ドアの内側ロックボタン 32 およびドアキーシリンダ 33 に関連的に連結されアンロック位置 U とロック位置 L とに切り替るロックレバー 30 と、前記ロックレバー 30 が前記アンロック位置 U にあると前記オープンレバー 27 の変位をラチェット 13 に伝達できる係合位置に切り替わり前記ロック位置 L にあると前記オープンレバー 27 の変位をラチェット 13 に伝達しない非係合位置に切り替るオープンリンク 40 と、前記ロックレバー 30 に対してアンチパニックバネ 36 の弾力により連動するように連結されて前記ロックレバー 30 の前記ロック位置 L と前記アンロック位置 U との変位を前記オープンリンク 40 に伝達する作動片 35 とを有し、前記オープンレバー 27 が前記開扉作動位置に変位した状態で前記ロックレバー 30 を前記ロック位置 L から前記アンロック位置 U に変位させると、前記アンチパニックバネ 36 が弾力的に変位することで前記作動片 35 が動かないまま前記ロックレバー 30 が前記アンロック位置 U に切り替るものにおいて、前記作動片 35 は前記ロックレバー 30 を軸止するロック軸 31 に軸止させ、前記オープンリンク 40 にはガイドスロット 41 を設け、前記作動片 35 には前記ガイドスロット 41 にスライド自在に係合するピン部 39 を設け、前記ロックレバー 30 はオーバーセンターバネ 34 の弾力により前記ロック位置 L 又は前記アンロック位置 U のいずれか一方に前記オーバーセンターバネ 34 の死点を境に保持され、前記オーバーセンターバネ 34 は前記内側ロックボタン 32 が関連的に連結される前記ロックレバー 30 のボタン側連結部と前記ロック軸 31 との間に配置し、前記ドアキーシリンダ 33 は前記ロック軸 31 を境として前記ボタン側連結部とは反対側に位置する前記ロックレバー 30 のシリンダ側連結部に関連的に連結した車両ドアラッチ装置のアンチパニック機構。

【請求項 2】

請求項 1 において、前記アンチパニックバネ 36 のコイル部 36A は、前記ロックレバー 30 と前記作動片 35 との間において、前記ロック軸 31 に対して同軸回りに配設した車両ドアラッチ装置のアンチパニック機構。

【請求項 3】

請求項 1 において、前記アンチパニックバネ 3 6 のコイル部 3 6 A は、前記ロック軸 3 1 の外周に挿通配置させた車両ドアラッチ装置のアンチパニック機構。

【請求項 4】

請求項 1 において、前記アンチパニックバネ 3 6 のコイル部 3 6 A は、前記ロック軸 3 1 の軸周りを前記ロック軸 3 1 の放射方向において囲むように配置した車両ドアラッチ装置のアンチパニック機構。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

よって、本発明は、ドアの外側開扉ハンドル 2 8 の開扉操作で待機位置から開扉作動位置に向けて変位するオープンレバー 2 7 と、前記ドアの内側ロックボタン 3 2 およびドアキーシリンダ 3 3 に関連的に連結されアンロック位置 U とロック位置 L とに切り替るロックレバー 3 0 と、前記ロックレバー 3 0 が前記アンロック位置 U にあると前記オープンレバー 2 7 の変位をラチェット 1 3 に伝達できる係合位置に切り替わり前記ロック位置 L にあると前記オープンレバー 2 7 の変位をラチェット 1 3 に伝達しない非係合位置に切り替るオープンリンク 4 0 と、前記ロックレバー 3 0 に対してアンチパニックバネ 3 6 の弾力により連動するように連結されて前記ロックレバー 3 0 の前記ロック位置 L と前記アンロック位置 U との変位を前記オープンリンク 4 0 に伝達する作動片 3 5 とを有し、前記オープンレバー 2 7 が前記開扉作動位置に変位した状態で前記ロックレバー 3 0 を前記ロック位置 L から前記アンロック位置 U に変位させると、前記アンチパニックバネ 3 6 が弾力的に変位することで前記作動片 3 5 が動かないまま前記ロックレバー 3 0 が前記アンロック位置 U に切り替るものにおいて、前記作動片 3 5 は前記ロックレバー 3 0 を軸止するロック軸 3 1 に軸止させ、前記オープンリンク 4 0 にはガイドスロット 4 1 を設け、前記作動片 3 5 には前記ガイドスロット 4 1 にスライド自在に係合するピン部 3 9 を設け、前記ロックレバー 3 0 はオーバーセンターバネ 3 4 の弾力により前記ロック位置 L 又は前記アンロック位置 U のいずれか一方に前記オーバーセンターバネ 3 4 の死点を境に保持され、前記オーバーセンターバネ 3 4 は前記内側ロックボタン 3 2 が関連的に連結される前記ロックレバー 3 0 のボタン側連結部と前記ロック軸 3 1 との間に配置し、前記ドアキーシリンダ 3 3 は前記ロック軸 3 1 を境として前記ボタン側連結部とは反対側に位置する前記ロックレバー 3 0 のシリンダ側連結部に関連的に連結した車両ドアラッチ装置のアンチパニック機構としたものである。